

古 監 委 第 18号  
令和4年8月25日

古河市長 針 谷 力 様

古河市監査委員	赤 岩 茂
同	阿久津 和 弘
同	黒 川 輝 男

令和3年度古河市一般会計及び特別会計  
決算並びに基金運用状況の審査意見について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により審査に付された、令和3年度における古河市一般会計及び特別会計の歳入歳出決算及び関係書類並びに同年度における基金の運用状況を示す書類を審査しましたので、その結果について次のとおり意見書を提出します。

令和3年度

古河市一般会計及び特別会計  
決算並びに基金運用状況審査意見書

古河市監査委員

# 目 次

第1章	一般会計及び特別会計決算審査意見書	
第1	基準に準拠している旨	1
第2	監査の種類	1
第3	審査の対象	1
第4	審査の期間	1
第5	審査の実施内容及び着眼点	1
第6	審査の結果	2
	【 総括意見 】	2
	【 要望及び確認事項等 】	3
第7	決算の総括	
1.	決算規模	5
	(1) 決算の概要	5
	(2) 決算収支の状況<<総計決算>>	6
	(3) 収入未済額の状況	6
	(4) 不納欠損の状況	7
2.	一般会計	8
	(1) 決算の概要	8
	(2) 歳入	8
	(3) 歳出	15
3.	特別会計	19
	(1) 決算の概要	19
	(2) 各会計の概要	21
	①国民健康保険（事業勘定）	21
	②国民健康保険（直診勘定）	22

③古河福祉の森診療所	23
④後期高齢者医療	24
⑤介護保険（保険事業勘定）	25
⑥介護保険（介護サービス事業勘定）	26
⑦農業集落排水事業	27
⑧ゴルフ場事業	28
⑨古河駅東部土地区画整理事業	29
⑩公共用地先行取得	30
⑪仁連地区新産業用地開発事業	31
4. 財産に関する調書	32
第2章 基金運用状況審査意見書	
第1 基準に準拠している旨	33
第2 監査の種類	33
第3 審査の対象	33
第4 審査の期間	33
第5 審査の実施内容及び着眼点	33
第6 審査の結果	33
第7 基金の運用状況	33
基金の運用状況調書	35

#### 【凡例】

- 各表中の符号の用法は、次のとおりである。  
「△」は減を示す。 「－」は該当数値なし又は算出不能のものを示す。  
「皆増」は全額増の割合を示す。 「皆減」は全額減の割合を示す。
- 比率は、少数点以下第2位を四捨五入した数値である。
- 構成比率は、合計が100となるように一部調整してある。

## 第1章 一般会計及び特別会計決算審査意見書

### 第1 基準に準拠している旨

監査委員は、古河市監査基準（令和2年古河市監査委員告示第1号）に準拠して監査を行った。

### 第2 監査の種類

決算審査（地方自治法第233条第2項、地方公営企業法第30条2項）

### 第3 審査の対象

#### 1 歳入歳出決算書

令和3年度 古河市一般会計

令和3年度 古河市国民健康保険特別会計（事業勘定）

令和3年度 古河市国民健康保険特別会計（直診勘定）

令和3年度 古河市古河福祉の森診療所特別会計

令和3年度 古河市後期高齢者医療特別会計

令和3年度 古河市介護保険特別会計（保険事業勘定）

令和3年度 古河市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

令和3年度 古河市農業集落排水事業特別会計

令和3年度 古河市ゴルフ場事業特別会計

令和3年度 古河市古河駅東部土地区画整理事業特別会計

令和3年度 古河市公共用地先行取得特別会計

令和3年度 古河市仁連地区新産業用地開発事業特別会計

#### 2 決算附属書類

(1) 歳入歳出決算事項別明細書

(2) 実質収支に関する調書

(3) 主要な施策の成果に関する説明書兼事業評価書

### 第4 審査の期間

令和4年6月1日から同年7月29日まで

### 第5 審査の実施内容及び着眼点

審査にあたっては、市長から提出された各会計の歳入歳出決算書及びその他関係書類について、法令に適合し、かつ、正確であるか、または前年の決算審査における監査委員の意見に対して必要な措置が講じられたか等に主眼をおいて、審査を実施した。

審査では、それぞれ関係職員から部課所属の事業概要・主要な事務事業の実施状況、決算書・決算関係資料により、執行状況の説明を受けた中で、必要に応じて関係課所管の帳簿、証拠書類と照合しながら行った。

## 第6 審査の結果

古河市一般会計・特別会計歳入歳出決算書及び決算附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数は会計諸帳簿及び証拠書類と符合し、正確であることを認めた。また、昨年決算審査における監査委員の意見に対しては、概ね必要な措置が講じられており、予算の執行及び事業の経営管理も良好に運営されていると認めた。審査の結果に基づく意見は次のとおりである。

### 【総括意見】

令和3年度の古河市の一般会計及び特別会計を合わせた決算の状況を見ると、決算額は、歳入が909億1,203万459円、歳出が866億5,755万5,515円となっており、形式的収支額として42億5447万4,944円の黒字決算となった。翌年度へ繰り越すべき財源1億4,608万円を差し引いた実質収支額は41億839万4,944円である。

このうち、一般会計の歳入決算額は、606億8,092万2,257円で前年度と比較して71億6,650万8,234円（10.6%）の減額となった。これは、地方消費税交付金や地方交付税が増加したものの、市税や国庫支出金等の減少分が大きかったためである。歳出決算額は568億4,606万3,460円で前年度と比較して87億5,546万3,169円（13.3%）の減額となった。これは、民生費や衛生費、諸支出金等が増加したものの、総務費や商工費等の減少分が大きかったためである。

次に、特別会計について、国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計など11の特別会計決算額は、歳入が302億3,110万8,202円、歳出が298億1,149万2,055円で、これを前年度と比較すると、歳入は2億7,107万6,042円（0.9%）の減額、歳出は1億1,242万9,632円（0.4%）の減額となっている。

ゴルフ場事業及び仁連地区新産業用地開発事業特別会計を除く9の特別会計で一般会計等からの繰り入れが行われており、合計は34億8,607万6,718円であり、前年度と比較して2億1,181万3,872円（5.7%）の減額となった。会計ごとに独立採算を強化し、事業の必要性の検証や経費節減、効率的な事業の執行などの徹底を求める。

一般会計・特別会計に係る不納欠損額は1億1,567万4,830円で対前年度比9,447万8,694円（45.0%）の減額となった。公平性、信頼性を確保していく上でも、引き続き厳正な運用に努め、法令及び市債権管理条例に基づく処理を行っていただきたい。

収入未済額についてみると、当年度の市税、国民健康保険税、各種使用料等の繰越明許費を除いた収入未済額は14億3,278万2,891円で、対前年度比182万9,088円（0.1%）の減額となっている。

一般会計における不用額は24億9,813万1,540円で予算現額に対して4.1%である。款別の主な不用額と対予算現額をみると、総務費2億8,550万2,009円

(3.9%)、民生費 8 億 9,061 万 7,385 円 (3.6%)、教育費 5 億 1,619 万 6,316 円 (9.6%) となっている。執行額を的確に見積り、不用額の減少に努められたい。

当年度、一般会計の歳出決算額は、民生費や衛生費、諸支出金等が増加したものの、総務費や商工費等の減少分が大きかったため、前年度比 13.3%の減となっている。

新型コロナウイルス感染症が再拡大する中、今後 10 年で社会状況も大きく変化することが見込まれる。

国は、地方や各分野との情報システム連携による共通基盤の提供により、国民・利用者目線でのデジタル改革と実装を進めようとしている。このような状況に乗り遅れることが無いよう、古河市も、各分野間で連携を取りながら、遺漏なく業務の遂行に努めていただきたい。

また、市が独自で進める R P A や行政手続きの電子化対応については、住民サービスの向上だけでなく、職員の業務時間やコスト削減もつなげるため、今後もぜひ推進されたい。

企業への創業・事業承継支援は、今後の少子化や中小企業経営者の高齢化・承継者不足を鑑みれば喫緊の課題と考える。就業機会を創出し、他自治体との競争力を強化するため、支援体制の整備を望む。

## 【要望及び確認事項等】

### ○企画政策部

#### ・企画課

ふるさと納税は年末がピークのため、業務代行委託料は 3 月補正ができたのではないかと。また、他市町村では攻めのふるさと納税を実施している自治体もあるため、参考にされたい。

成果説明書において、事業の成果の度合いを測るため、目標設定は不可欠であるが、目標にそぐわない指標が見受けられた。目標設定も含め P D C A の体制は十分に検討すべきであろう。

#### ・ I T 戦略課

令和 3 年度は業務自動化 ( R P A ) が 21 業務に適用され、作業時間が約 50%削減されるなど、相当の効果がみられた。今後の人口減少社会を見据えて、人とシステムの共存による生産性向上の観点から評価すべきことである。

また、令和 4 年度には約 100 の行政手続きの電子化対応が検討されており、積極的に進めてほしい。

## ○市民部

### ・市民協働課

民生委員等の成り手不足の現状ではあるが、自治会長・行政区長の負担軽減のため、各課から依頼される充て職での委員の任命は極力避けるべきではないか。

また全庁的な話ではあるが、各審議会委員の選出については、審議会の役割を理解した上で、知識や経験がある人を選出するなど見直しが必要と思われる。

今後、少子高齢化により委員選出がより困難になることなども考え、町内会の再編や自治会・行政区の合併等について、市全体として検討グループを編成するなどして考慮されたい。

## ○福祉部

### ・福祉推進課

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金について、42名を対象に48件支給されたが、就労に至ったのは10名程度であった。

国からの度重なる支援策を受け、就労意欲が低下する受給者もいるとのこと。就労者数を増加させる工夫が望まれる。

## ○産業部

### ・商工観光課

企業への創業・事業承継支援は、今後の少子化や中小企業経営者の高齢化・承継者不足を鑑みれば喫緊の課題と考える。他自治体との競争力強化のためにも、目標を定め、創業や事業承継がしやすい支援体制の整備が不可欠ではないか。

## ○都市建設部

### ・建築指導課

現在、民間企業からの建築確認結果の報告は紙ベースで行われている。これを電子化すれば、入力に係る経費等の削減が見込めるため導入を検討されたい。

## ○教育部

### ・教育総務課

就学時健康診断時の担当医確保のため、対象者が少人数の学校については、近隣校との合同実施を検討されたい。

### ・学校給食課

賄材料費に対する学校給食費(現年分)は、年間約7,160万円の赤字であり、公費負担分等を除いた保護者負担分の赤字額は約800万円となっている。

学校給食法上、賄材料費については、「学校給食費」として保護者が負担することとされているが、昨今の急激な材料費の高騰を考慮すると、単純な給食費値上げでの対応は困難ではないか。抜本的な改革が必要であろう。



## 第7 決算の総括

### 1. 決算規模

#### (1) 決算の概要

令和3年度における一般会計及び特別会計の予算現額は、917億4,166万6,000円（前年度対比10.1%の減）で、これに対する決算額は、

□歳入総額 909億1,203万459円（予算に対する収入率99.1%）

□歳出総額 866億5,755万5,515円（予算に対する執行率94.5%）

差 引 42億5,447万4,944円 となっている。

この決算額を前年度の決算額と比較すると

□歳入決算額 74億3,758万4,276円（7.6%）

□歳出決算額 88億6,789万2,801円（9.3%）それぞれ減となっている。

◇一般会計及び特別会計の歳入歳出決算状況は、次表のとおりである。

（単位：円、%）

年度	区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	差引残額	予算決算比較	
						歳入	歳出
令和3年度	一般会計	60,589,235,000	60,680,922,257	56,846,063,460	3,834,858,797	100.2	93.8
	特別会計	31,152,431,000	30,231,108,202	29,811,492,055	419,616,147	97.0	95.7
	合 計	91,741,666,000	90,912,030,459	86,657,555,515	4,254,474,944	99.1	94.5
令和2年度	一般会計	70,116,836,000	67,847,430,491	65,601,526,629	2,245,903,862	96.8	93.6
	特別会計	31,958,546,000	30,502,184,244	29,923,921,687	578,262,557	95.4	93.6
	合 計	102,075,382,000	98,349,614,735	95,525,448,316	2,824,166,419	96.3	93.6
比較増減	一般会計	△ 9,527,601,000	△ 7,166,508,234	△ 8,755,463,169	1,588,954,935	-	-
	特別会計	△ 806,115,000	△ 271,076,042	△ 112,429,632	△ 158,646,410	-	-
	合 計	△ 10,333,716,000	△ 7,437,584,276	△ 8,867,892,801	1,430,308,525	-	-
	増減率	△ 10.1	△ 7.6	△ 9.3	50.6	-	-

◇公債費の状況は、次表のとおりである。

（単位：千円）

年度	区 分	前年度末現在高	発行額	元金償還額	決算年度末現在高
令和3年度	一般会計	53,292,253	3,790,227	5,895,702	51,186,778
	特別会計	7,994,333	581,900	1,849,071	6,727,162
	合 計	61,286,586	4,372,127	7,744,773	57,913,940
令和2年度	一般会計	55,807,610	3,135,996	5,651,353	53,292,253
	特別会計	8,635,785	906,900	1,548,352	7,994,333
	合 計	64,443,395	4,042,896	7,199,705	61,286,586
比較増減	一般会計	△ 2,515,357	654,231	244,349	△ 2,105,475
	特別会計	△ 641,452	△ 325,000	300,719	△ 1,267,171
	合 計	△ 3,156,809	329,231	545,068	△ 3,372,646
	増減率	△ 4.9	8.1	7.6	△ 5.5

(2) 決算収支の状況<<総計決算>>

(単位：円、%)

区 分		令和3年度	令和2年度	比較増減	
				増減額	増減率
歳入歳出差引額 (形式収支額)	一般会計	3,834,858,797	2,245,903,862	1,588,954,935	70.7
	特別会計	419,616,147	578,262,557	△ 158,646,410	△ 27.4
	合 計	4,254,474,944	2,824,166,419	1,430,308,525	50.6
翌年度繰越財源	一般会計	118,620,000	221,074,000	△ 102,454,000	△ 46.3
	特別会計	27,460,000	27,571,000	△ 111,000	△ 0.4
	合 計	146,080,000	248,645,000	△ 102,565,000	△ 41.2
実質収支額	一般会計	3,716,238,797	2,024,829,862	1,691,408,935	83.5
	特別会計	392,156,147	550,691,557	△ 158,535,410	△ 28.8
	合 計	4,108,394,944	2,575,521,419	1,532,873,525	59.5

(3) 収入未済額の状況

(単位：円)

年度	区分	現年度分に係るもの		過年度分に係るもの		計	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和3年度	一般会計	7,507	238,075,877	12,168	513,637,298	19,675	751,713,175
	特別会計	4,209	251,262,733	6,753	429,806,983	10,962	681,069,716
	国民健康保険 (事業勘定)	3,074	226,418,371	5,614	406,549,031	8,688	632,967,402
	後期高齢者医療	481	5,996,200	119	5,087,500	600	11,083,700
	介護保険 (保険事業)	307	17,473,700	432	16,893,300	739	34,367,000
	農集排事業	347	1,374,462	588	1,277,152	935	2,651,614
	合 計	11,716	489,338,610	18,921	943,444,281	30,637	1,432,782,891
令和2年度	一般会計	7,415	266,244,284	11,595	489,040,105	19,010	755,284,389
	特別会計	4,090	276,250,664	6,679	403,076,926	10,769	679,327,590
	国民健康保険 (事業勘定)	3,123	252,362,909	5,493	375,935,081	8,616	628,297,990
	後期高齢者医療	369	5,900,300	132	5,136,300	501	11,036,600
	介護保険 (保険事業)	211	16,597,900	529	20,667,400	740	37,265,300
	農集排事業	387	1,389,555	525	1,338,145	912	2,727,700
	合 計	11,505	542,494,948	18,274	892,117,031	29,779	1,434,611,979
比較増減	一般会計	92	△ 28,168,407	573	24,597,193	665	△ 3,571,214
	特別会計	119	△ 24,987,931	74	26,730,057	193	1,742,126
	合 計	211	△ 53,156,338	647	51,327,250	858	△ 1,829,088
	増減率	1.8	△ 9.8	3.5	5.8	2.9	△ 0.1

※収入未済額のうち、繰越明許費によるものは除いてある。

当年度における収入未済額の状況は、一般会計が7億5,171万3,175円、特別会計が6億8,106万9,716円、合わせて14億3,278万2,891円となっている。

前年度と比較すると、一般会計が357万1,214円の減、特別会計が174万2,126円の増、合わせて182万9,088円の減となっている。

## (4) 不納欠損の状況

(単位：円)

年度	区分	地方税法第18条		地方税法第15条の7第4項 地方税法第15条の7第5項		市債権管理条例第13条 地方自治法第236条第1項 介護保険法第200条 他		計	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和3年度	一般会計	617	13,349,170	1,191	23,542,934	74	4,897,023	1,882	41,789,127
	特別会計	900	18,569,712	1,482	33,429,470	710	21,886,521	3,092	73,885,703
	国民健康保険 (事業勘定)	900	18,569,712	1,482	33,429,470	58	504,042	2,440	52,503,224
	後期高齢者医療	0	0	0	0	88	2,255,600	88	2,255,600
	介護保険 (保険事業)	0	0	0	0	475	18,929,800	475	18,929,800
	農業集落排水事業	0	0	0	0	89	197,079	89	197,079
	合計	1,517	31,918,882	2,673	56,972,404	784	26,783,544	4,974	115,674,830
令和2年度	一般会計	634	14,230,210	1,923	59,206,472	61	4,900,847	2,618	78,337,529
	特別会計	317	17,775,300	1,222	91,882,250	701	22,158,445	2,240	131,815,995
	国民健康保険 (事業勘定)	317	17,775,300	1,222	91,882,250	27	246,470	1,566	109,904,020
	後期高齢者医療	0	0	0	0	104	3,312,900	104	3,312,900
	介護保険 (保険事業)	0	0	0	0	460	18,238,100	460	18,238,100
	農業集落排水事業	0	0	0	0	110	360,975	110	360,975
	合計	951	32,005,510	3,145	151,088,722	762	27,059,292	4,858	210,153,524
比較増減	一般会計	△ 17	△ 881,040	△ 732	△ 35,663,538	13	△ 3,824	△ 736	△ 36,548,402
	特別会計	583	794,412	260	△ 58,452,780	9	△ 271,924	852	△ 57,930,292
	合計	566	△ 86,628	△ 472	△ 94,116,318	22	△ 275,748	116	△ 94,478,694
	増減率	59.5	△ 0.3	△ 15.0	△ 62.3	2.9	△ 1.0	2.4	△ 45.0

※後期高齢者医療の後期高齢者医療保険料225万5,600円については、高齢者の医療の確保に関する法律第160条による。

※介護保険（保険事業）の介護保険料1,892万9,800円については、介護保険法第200条による。

※農業集落排水事業の施設使用料19万7,079円については、地方自治法第236条第1項による。

当年度における不納欠損の状況は、一般会計が4,178万9,127円、特別会計が7,388万5,703円、合わせて1億1,567万4,830円となっている。

前年度と比較すると、一般会計が3,654万8,402円の減、特別会計が5,793万292円の減、合わせて9,447万8,694円の減となっている。

## 2. 一般会計

### (1) 決算の概要

令和3年度における一般会計の予算現額は、605億8,923万5,000円（前年度対比13.6%の減）で、これに対する決算額は、

□歳入総額 606億8,092万2,257円（予算に対する収入率100.15%）

□歳出総額 568億4,606万3,460円（予算に対する執行率93.82%）

差引 38億3,485万8,797円 となっている。

この決算額を前年度の決算額に比較すると

□歳入決算額 71億6,650万8,234円（10.6%）

□歳出決算額 87億5,546万3,169円（13.3%）それぞれ減少している。

◇決算収支状況は、次表のとおりである。

（単位：円、%）

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減	
			増減額	増減率
予算現額	60,589,235,000	70,116,836,000	△ 9,527,601,000	△ 13.6
歳入決算額 (A)	60,680,922,257	67,847,430,491	△ 7,166,508,234	△ 10.6
歳出決算額 (B)	56,846,063,460	65,601,526,629	△ 8,755,463,169	△ 13.3
歳入歳出差引額(C) = (A) - (B)	3,834,858,797	2,245,903,862	1,588,954,935	70.7
翌年度繰越財源(D)	118,620,000	221,074,000	△ 102,454,000	△ 46.3
実質収支額 (E) = (C) - (D)	3,716,238,797	2,024,829,862	1,691,408,935	83.5

### (2) 歳入

#### ア 予算の執行状況

（単位：円、%）

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	60,589,235,000	62,600,844,559	60,680,922,257	41,789,127	1,878,133,175	100.2	96.9
令和2年度	70,116,836,000	70,398,513,409	67,847,430,491	78,337,529	2,472,745,389	96.8	96.4
比較増減	△ 9,527,601,000	△ 7,797,668,850	△ 7,166,508,234	△ 36,548,402	△ 594,612,214	-	-
増減率	△ 13.6	△ 11.1	△ 10.6	△ 46.7	△ 24.0	-	-

当年度の歳入決算額は、606億8,092万2,257円で、予算現額に対して100.2%、調定額に対して96.9%の収入率となっている。

不納欠損額は4,178万9,127円、収入未済額は18億7,813万3,175円となっている。

前年度と比較すると、不納欠損額は3,654万8,402円（46.7%）の減となっている。収入未済額は5億9,461万2,214円（24.0%）の減で、繰越明許費によるものを除くと357万1,214円の減となっている。

## イ 款別収入状況

款別の決算概要については、次のとおりである。

### 第1款 市 税

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	19,200,000,000	21,128,523,603	20,559,984,504	36,699,104	531,839,995	107.1	97.3
令和2年度	20,923,000,000	21,838,241,560	21,238,129,376	73,055,152	527,057,032	101.5	97.3
比較増減	△ 1,723,000,000	△ 709,717,957	△ 678,144,872	△ 36,356,048	4,782,963	-	-
増減率	△ 8.2	△ 3.2	△ 3.2	△ 49.8	0.9	-	-

収入済額は、205億5,998万4,504円で、予算現額に対し107.1%、調定額に対し97.3%の収入率となっており、前年度と比較すると6億7,814万4,872円(3.2%)の減である。

収入総額構成比率は、33.9%(前年度31.3%)である。

不納欠損額は3,669万9,104円で、前年度と比較すると3,635万6,048円(49.8%)の減となっている。

収入未済額は5億3,183万9,995円で、前年度と比較すると478万2,963円(0.9%)の増となっている。

市税は財政収入の根幹を成すものであり、納税しやすい環境の整備、租税負担の公平の確保に努め、また徴収手段を強化するなど、なお一層の増収を図るよう取り組んでいただきたい。

### 第2款 地方譲与税

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	468,000,000	499,633,001	499,633,001	0	0	106.8	100.0
令和2年度	464,000,000	491,664,000	491,664,000	0	0	106.0	100.0
比較増減	4,000,000	7,969,001	7,969,001	0	0	-	-
増減率	0.9	1.6	1.6	0.0	0.0	-	-

収入済額は、4億9,963万3,001円で、予算現額に対し106.8%、調定額に対し100.0%の収入率となっており、前年度と比較すると796万9,001円(1.6%)の増である。

主なものは、地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税となっている。

収入総額構成比率は、0.8%(前年度0.7%)である。

### 第3款 利子割交付金

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	10,000,000	11,333,000	11,333,000	0	0	113.3	100.0
令和2年度	10,000,000	14,289,000	14,289,000	0	0	142.9	100.0
比較増減	0	△ 2,956,000	△ 2,956,000	0	0	-	-
増減率	0.0	△ 20.7	△ 20.7	0.0	0.0	-	-

収入済額は、1,133万3,000円で、予算現額に対し113.3%、調定額に対し100.0%の収入率となっており、前年度と比較すると295万6,000円(20.7%)の減である。

収入総額構成比率は、0.0%(前年度0.0%)である。

第4款 配当割交付金

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	70,000,000	108,294,000	108,294,000	0	0	154.7	100.0
令和2年度	70,000,000	68,538,000	68,538,000	0	0	97.9	100.0
比較増減	0	39,756,000	39,756,000	0	0	-	-
増減率	0.0	58.0	58.0	0.0	0.0	-	-

収入済額は1億829万4,000円で、予算現額に対し154.7%、調定額に対し100.0%の収入率となっており、前年度と比較すると3,975万6,000円(58.0%)の増である。

収入総額構成比率は、0.2%(前年度0.1%)である。

第5款 株式等譲渡所得割交付金

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	70,000,000	129,117,000	129,117,000	0	0	184.5	100.0
令和2年度	40,000,000	95,570,000	95,570,000	0	0	238.9	100.0
比較増減	30,000,000	33,547,000	33,547,000	0	0	-	-
増減率	75.0	35.1	35.1	0.0	0.0	-	-

収入済額は、1億2,911万7,000円で、予算現額に対し184.5%、調定額に対し100.0%の収入率となっており、前年度と比較すると3,354万7,000円(35.1%)の増である。

収入総額構成比率は、0.2%(前年度0.1%)である。

第6款 法人事業税交付金

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	110,000,000	288,599,000	288,599,000	0	0	262.4	100.0
令和2年度	110,000,000	156,551,000	156,551,000	0	0	142.3	100.0
比較増減	0	132,048,000	132,048,000	0	0	-	-
増減率	0.0	84.3	84.3	0.0	0.0	-	-

収入済額は、2億8,859万9,000円で、予算現額に対し262.4%、調定額に対し100.0%の収入率となっており、前年度から1億3,204万8,000円(84.3%)の増である。

収入総額構成比率は、0.5%(前年度0.2%)である。

第7款 地方消費税交付金

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	2,900,000,000	3,273,017,000	3,273,017,000	0	0	112.9	100.0
令和2年度	2,640,000,000	3,004,263,000	3,004,263,000	0	0	113.8	100.0
比較増減	260,000,000	268,754,000	268,754,000	0	0	-	-
増減率	9.8	8.9	8.9	0.0	0.0	-	-

収入済額は、32億7,301万7,000円で、予算現額に対し112.9%、調定額に対し100.0%の収入率となっており、前年度と比較すると2億6,875万4,000円(8.9%)の増である。

収入総額構成比率は、5.4%(前年度4.4%)である。

第8款 ゴルフ場利用税交付金

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	10,000,000	15,276,940	15,276,940	0	0	152.8	100.0
令和2年度	9,000,000	9,675,890	9,675,890	0	0	107.5	100.0
比較増減	1,000,000	5,601,050	5,601,050	0	0	-	-
増減率	11.1	57.9	57.9	0.0	0.0	-	-

収入済額は、1,527万6,940円で、予算現額に対し152.8%、調定額に対し100.0%の収入率となっており、前年度と比較すると560万1,050円（57.9%）の増である。

収入総額構成比率は、0.0%（前年度0.0%）である。

第9款 環境性能割交付金

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	40,000,000	42,899,000	42,899,000	0	0	107.2	100.0
令和2年度	50,000,000	35,331,000	35,331,000	0	0	70.7	100.0
比較増減	△ 10,000,000	7,568,000	7,568,000	0	0	-	-
増減率	△ 20.0	21.4	21.4	0.0	0.0	-	-

収入済額は、4,289万9,000円で、予算現額に対し107.2%、調定額に対し100.0%の収入率となっており、前年度と比較すると756万8,000円（21.4%）の増である。

収入総額構成比率は、0.1%（前年度0.1%）である。

第10款 国有提供施設等所在市町村助成交付金

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	1,000,000	1,134,000	1,134,000	0	0	113.4	100.0
令和2年度	1,100,000	1,158,000	1,158,000	0	0	105.3	100.0
比較増減	△ 100,000	△ 24,000	△ 24,000	0	0	-	-
増減率	△ 9.1	△ 2.1	△ 2.1	0.0	0.0	-	-

収入済額は、113万4,000円で、予算現額に対し113.4%、調定額に対し100.0%の収入率となっており、前年度と比較すると2万4,000円（2.1%）の減である。

収入総額構成比率は、0.0%（前年度0.0%）である。

第11款 地方特例交付金

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	265,003,000	335,481,000	335,481,000	0	0	126.6	100.0
令和2年度	150,000,000	166,639,000	166,639,000	0	0	111.1	100.0
比較増減	115,003,000	168,842,000	168,842,000	0	0	-	-
増減率	76.7	101.3	101.3	0.0	0.0	-	-

収入済額は、3億3,548万1,000円で、予算現額に対し126.6%、調定額に対し100.0%の収入率となっており、前年度と比較すると1億6,884万2,000円（101.3%）の増である。

収入総額構成比率は、0.6%（前年度0.3%）である。

第12款 地方交付税

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	7,559,527,000	7,629,558,000	7,629,558,000	0	0	100.9	100.0
令和2年度	6,400,658,000	6,437,594,000	6,437,594,000	0	0	100.6	100.0
比較増減	1,158,869,000	1,191,964,000	1,191,964,000	0	0	-	-
増減率	18.1	18.5	18.5	0.0	0.0	-	-

収入済額は、76億2,955万8,000円で、予算現額に対し100.9%、調定額に対し100.0%の収入率となっており、前年度と比較すると11億9,196万4,000円(18.5%)の増である。

収入総額構成比率は、12.6%(前年度9.5%)である。

第13款 交通安全対策特別交付金

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	15,000,000	15,520,000	15,520,000	0	0	103.5	100.0
令和2年度	15,000,000	15,916,000	15,916,000	0	0	106.1	100.0
比較増減	0	△396,000	△396,000	0	0	-	-
増減率	0.0	△2.5	△2.5	0.0	0.0	-	-

収入済額は、1,552万円で、予算現額に対し103.5%、調定額に対し100.0%の収入率となっており、前年度と比較すると39万6,000円(2.5%)の減である。

収入総額構成比率は、0.0%(前年度0.0%)である。

第14款 分担金及び負担金

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	285,417,000	309,679,070	299,510,710	193,000	9,975,360	104.9	96.7
令和2年度	308,059,000	291,486,465	270,425,255	381,530	20,679,680	87.8	92.8
比較増減	△22,642,000	18,192,605	29,085,455	△188,530	△10,704,320	-	-
増減率	△7.3	6.2	10.8	△49.4	△51.8	-	-

収入済額は、2億9,951万710円で、予算現額に対し104.9%、調定額に対し96.7%の収入率となっており、前年度と比較すると2,908万5,455円(10.8%)の増である。

収入総額構成比率は、0.5%(前年度0.4%)である。

不納欠損額は、前年度と比較すると18万8,530円(49.4%)の減であり、収入未済額は、前年度と比較すると1,070万4,320円(51.8%)の減となっている。費用負担の原則により、なお一層の徴収に努められたい。

第15款 使用料及び手数料

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	318,073,000	294,480,693	290,036,614	351,600	4,092,479	91.2	98.5
令和2年度	333,375,000	304,288,348	298,880,966	348,000	5,059,382	89.7	98.2
比較増減	△15,302,000	△9,807,655	△8,844,352	3,600	△966,903	-	-
増減率	△4.6	△3.2	△3.0	1.0	△19.1	-	-

収入済額は、2億9,003万6,614円で、予算現額に対し91.2%、調定額に対し98.5%の収入率となっており、前年度と比較すると884万4,352円(3.0%)の減である。

収入総額構成比率は、0.5%(前年度0.5%)である。

不納欠損額は、前年度と比較すると3,600円(1.0%)の増であり、収入未済額は、前年度と比較すると96万6,903円(19.1%)の減となっている。



第16款 国庫支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	15,749,515,000	15,706,587,187	14,776,459,187	0	930,128,000	93.8	94.1
令和2年度	25,703,970,000	25,594,753,096	24,763,355,096	0	831,398,000	96.3	96.8
比較増減	△ 9,954,455,000	△ 9,888,165,909	△ 9,986,895,909	0	98,730,000	-	-
増減率	△ 38.7	△ 38.6	△ 40.3	0.0	11.9	-	-

収入済額は、147億7,645万9,187円で、予算現額に対し93.8%、調定額に対し94.1%の収入率となっており、前年度と比較すると99億8,689万5,909円(40.3%)の減である。

収入総額構成比率は、24.3%(前年度36.5%)である。

収入未済額は、前年度と比較すると9,873万円(11.9%)の増となっている。

第17款 県支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	4,272,253,000	4,144,069,966	4,138,224,966	0	5,845,000	96.9	99.9
令和2年度	4,324,870,000	4,143,170,781	4,143,170,781	0	0	95.8	100.0
比較増減	△ 52,617,000	899,185	△ 4,945,815	0	5,845,000	-	-
増減率	△ 1.2	0.0	△ 0.1	0.0	皆増	-	-

収入済額は、41億3,822万4,966円で、予算現額に対し96.9%、調定額に対し99.9%の収入率となっており、前年度と比較すると494万5,815円(0.1%)の減である。

収入総額構成比率は、6.8%(前年度6.1%)である。

収入未済額は、前年度と比較すると584万5,000円(皆増)の増となっている。

第18款 財産収入

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	29,681,000	79,038,124	79,038,124	0	0	266.3	100.0
令和2年度	34,566,000	50,163,070	46,527,717	0	3,635,353	134.6	92.8
比較増減	△ 4,885,000	28,875,054	32,510,407	0	△ 3,635,353	-	-
増減率	△ 14.1	57.6	69.9	0.0	皆減	-	-

収入済額は、7,903万8,124円で、予算現額に対し266.3%、調定額に対し100.0%の収入率となっており、前年度と比較すると3,251万407円(69.9%)の増である。

収入総額構成比率は、0.1%(前年度0.1%)である。

収入未済額は、前年度と比較すると363万5,353円(皆減)の減となっている。

第19款 寄附金

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	160,500,000	165,958,732	165,958,732	0	0	103.4	100.0
令和2年度	410,001,000	410,822,519	410,822,519	0	0	100.2	100.0
比較増減	△ 249,501,000	△ 244,863,787	△ 244,863,787	0	0	-	-
増減率	△ 60.9	△ 59.6	△ 59.6	0.0	0.0	-	-

収入済額は、1億6,595万8,732円で、予算現額に対し103.4%、調定額に対し100.0%の収入率となっており、前年度と比較すると2億4,486万3,787円(59.6%)の減である。

収入総額構成比率は、0.3%(前年度0.6%)である。

## 第20款 繰入金

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	364,628,000	360,841,513	360,841,513	0	0	99.0	100.0
令和2年度	276,256,000	272,427,878	272,427,878	0	0	98.6	100.0
比較増減	88,372,000	88,413,635	88,413,635	0	0	-	-
増減率	32.0	32.5	32.5	0.0	0.0	-	-

収入済額は、3億6,084万1,513円で、予算現額に対し99.0%、調定額に対し100.0%の収入率となっており、前年度と比較すると8,841万3,635円(32.5%)の増である。

収入総額構成比率は、0.6%(前年度0.4%)である。

## 第21款 繰越金

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	2,245,903,000	2,245,903,862	2,245,903,862	0	0	100.0	100.0
令和2年度	1,289,587,000	1,289,587,529	1,289,587,529	0	0	100.0	100.0
比較増減	956,316,000	956,316,333	956,316,333	0	0	-	-
増減率	74.2	74.2	74.2	0.0	0.0	-	-

収入済額は、22億4,590万3,862円で、予算現額に対し100.0%、調定額に対し100.0%の収入率となっており、前年度と比較すると9億5,631万6,333円(74.2%)の増である。

収入総額構成比率は、3.7%(前年度1.9%)である。

## 第22款 諸収入

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	1,613,647,000	1,837,472,868	1,624,875,104	4,545,423	208,052,341	100.7	88.4
令和2年度	1,448,498,000	1,695,826,273	1,480,918,484	4,552,847	210,354,942	102.2	87.3
比較増減	165,149,000	141,646,595	143,956,620	△ 7,424	△ 2,302,601	-	-
増減率	11.4	8.4	9.7	△ 0.2	△ 1.1	-	-

収入済額は、16億2,487万5,104円で、予算現額に対し100.7%、調定額に対し88.4%の収入率となっており、前年度と比較すると1億4,395万6,620円(9.7%)の増である。

収入総額構成比率は、2.7%(前年度2.2%)である。

不納欠損額は、前年度と比較すると7,424円(0.2%)の減、収入未済額は、前年度と比較すると230万2,601円(1.1%)の減となっている。費用負担の原則により、なお一層の徴収に努められたい。

## 第23款 市債

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	4,831,088,000	3,978,427,000	3,790,227,000	0	188,200,000	78.5	95.3
令和2年度	5,104,896,000	4,010,557,000	3,135,996,000	0	874,561,000	61.4	78.2
比較増減	△ 273,808,000	△ 32,130,000	654,231,000	0	△ 686,361,000	-	-
増減率	△ 5.4	△ 0.8	20.9	0.0	△ 78.5	-	-

収入済額は、37億9,022万7,000円で、予算現額に対し78.5%、調定額に対し95.3%の収入率となっており、前年度と比較すると6億5,423万1,000円(20.9%)の増である。

収入総額構成比率は、6.2%(前年度4.6%)である。

収入未済額は、前年度と比較すると6億8,636万1,000円(78.5%)の減となっている。

### (3) 歳出

#### ア 予算の執行状況

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合
					対予算
令和3年度	60,589,235,000	56,846,063,460	1,245,040,000	2,498,131,540	93.8
令和2年度	70,116,836,000	65,601,526,629	1,938,535,000	2,576,774,371	93.6
比較増減	△ 9,527,601,000	△ 8,755,463,169	△ 693,495,000	△ 78,642,831	-
増減率	△ 13.6	△ 13.3	△ 35.8	△ 3.1	-

当年度の歳出決算額は、568億4,606万3,460円で、予算現額に対して93.8%の執行率であり、前年度と比較すると決算額において87億5,546万3,169円(13.3%)の減となっている。

なお、不用額は前年度と比較すると7,864万2,831円(3.1%)の減となり、予算現額に占める割合は4.1%である。

#### イ 款別支出状況

款別の決算概要については、次のとおりである。

##### 第1款 議会費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	構成比率
					対予算	対歳出計
令和3年度	298,366,000	290,608,435	0	7,757,565	97.4	0.5
令和2年度	289,398,000	282,272,615	0	7,125,385	97.5	0.4
比較増減	8,968,000	8,335,820	0	632,180	-	-
増減率	3.1	3.0	0.0	8.9	-	-

支出済額は、2億9,060万8,435円で、予算現額に対し97.4%の執行率であり、前年度と比較すると833万5,820円(3.0%)の増である。支出総額構成比率は、0.5%(前年度0.4%)である。

##### 第2款 総務費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	構成比率
					対予算	対歳出計
令和3年度	7,406,412,000	6,459,830,991	661,079,000	285,502,009	87.2	11.4
令和2年度	20,492,404,000	20,273,602,076	12,000,000	206,801,924	98.9	30.9
比較増減	△ 13,085,992,000	△ 13,813,771,085	649,079,000	78,700,085	-	-
増減率	△ 63.9	△ 68.1	5,409.0	38.1	-	-

支出済額は、64億5,983万991円で、予算現額に対し87.2%の執行率であり、前年度と比較すると138億1,377万1,085円(68.1%)の減である。

支出総額構成比率は、11.4%(前年度30.9%)である。

##### 第3款 民生費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	構成比率
					対予算	対歳出計
令和3年度	25,076,796,000	24,082,685,615	103,493,000	890,617,385	96.0	42.4
令和2年度	22,550,939,000	21,394,712,448	44,172,000	1,112,054,552	94.9	32.6
比較増減	2,525,857,000	2,687,973,167	59,321,000	△ 221,437,167	-	-
増減率	11.2	12.6	134.3	△ 19.9	-	-

支出済額は、240億8,268万5,615円で、予算現額に対し96.0%の執行率であり、前年度と比較すると26億8,797万3,167円(12.6%)の増である。

支出総額構成比率は42.4%(前年度32.6%)である。

#### 第4款 衛生費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	構成比率
					対予算	対歳出計
令和3年度	5,237,231,000	4,657,425,588	209,380,000	370,425,412	88.9	8.2
令和2年度	3,842,745,000	3,293,999,571	372,144,000	176,601,429	85.7	5.0
比較増減	1,394,486,000	1,363,426,017	△ 162,764,000	193,823,983	-	-
増減率	36.3	41.4	△ 43.7	109.8	-	-

支出済額は、46億5,742万5,588円で、予算現額に対し88.9%の執行率であり、前年度と比較すると13億6,342万6,017円(41.4%)の増である。

支出総額構成比率は8.2%(前年度5.0%)である。

#### 第5款 労働費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	構成比率
					対予算	対歳出計
令和3年度	18,956,000	17,826,999	0	1,129,001	94.0	0.0
令和2年度	17,115,000	16,175,254	0	939,746	94.5	0.0
比較増減	1,841,000	1,651,745	0	189,255	-	-
増減率	10.8	10.2	0.0	20.1	-	-

支出済額は、1,782万6,999円で、予算現額に対し94.0%の執行率であり、前年度と比較すると165万1,745円(10.2%)の増である。

支出総額構成比率は0.0%(前年度0.0%)である。

#### 第6款 農林水産業費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	構成比率
					対予算	対歳出計
令和3年度	1,135,879,000	1,067,046,554	42,140,000	26,692,446	93.9	1.9
令和2年度	1,186,304,000	1,134,828,105	22,395,000	29,080,895	95.7	1.7
比較増減	△ 50,425,000	△ 67,781,551	19,745,000	△ 2,388,449	-	-
増減率	△ 4.3	△ 6.0	88.2	△ 8.2	-	-

支出済額は、10億6,704万6,554円で、予算現額に対し93.9%の執行率であり、前年度と比較すると6,778万1,551円(6.0%)の減である。

支出総額構成比率は1.9%(前年度1.7%)である。

#### 第7款 商工費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	構成比率
					対予算	対歳出計
令和3年度	451,782,000	380,434,641	0	71,347,359	84.2	0.7
令和2年度	1,145,066,000	1,029,322,621	69,446,000	46,297,379	89.9	1.6
比較増減	△ 693,284,000	△ 648,887,980	△ 69,446,000	25,049,980	-	-
増減率	△ 60.5	△ 63.0	皆減	54.1	-	-

支出済額は、3億8,043万4,641円で、予算現額に対し84.2%の執行率であり、前年度と比較すると6億4,888万7,980円(63.0%)の減である。

支出総額構成比率は0.7%(前年度1.6%)である。

第8款 土木費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	構成比率
					対予算	対歳出計
令和3年度	4,596,458,000	4,167,201,623	213,222,000	216,034,377	90.7	7.3
令和2年度	5,155,828,000	4,411,015,150	573,411,000	171,401,850	85.6	6.7
比較増減	△ 559,370,000	△ 243,813,527	△ 360,189,000	44,632,527	-	-
増減率	△ 10.8	△ 5.5	△ 62.8	26.0	-	-

支出済額は、41億6,720万1,623円で、予算現額に対し90.7%の執行率であり、前年度と比較すると2億4,381万3,527円(5.5%)の減である。

支出総額構成比率は7.3%(前年度6.7%)である。

第9款 消防費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	構成比率
					対予算	対歳出計
令和3年度	2,198,694,000	2,135,969,155	0	62,724,845	97.1	3.7
令和2年度	2,412,152,000	2,217,748,706	0	194,403,294	91.9	3.4
比較増減	△ 213,458,000	△ 81,779,551	0	△ 131,678,449	-	-
増減率	△ 8.8	△ 3.7	0.0	△ 67.7	-	-

支出済額は、21億3,596万9,155円で、予算現額に対し97.1%の執行率であり、前年度と比較すると8,177万9,551円(3.7%)の減である。

支出総額構成比率は、3.7%(前年度3.4%)である。

第10款 教育費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	構成比率
					対予算	対歳出計
令和3年度	5,390,063,000	4,858,140,684	15,726,000	516,196,316	90.1	8.5
令和2年度	6,594,433,000	5,216,704,398	840,456,000	537,272,602	79.1	8.1
比較増減	△ 1,204,370,000	△ 358,563,714	△ 824,730,000	△ 21,076,286	-	-
増減率	△ 18.3	△ 6.9	△ 98.1	△ 3.9	-	-

支出済額は、48億5,814万684円で、予算現額に対し90.1%の執行率であり、前年度と比較すると3億5,856万3,714円(6.9%)の減である。

支出総額構成比率は8.5%(前年度8.1%)である。

第11款 災害復旧費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	構成比率
					対予算	対歳出計
令和3年度	4,514,000	3,757,930	0	756,070	83.3	0.0
令和2年度	15,545,000	11,030,040	4,511,000	3,960	71.0	0.0
比較増減	△ 11,031,000	△ 7,272,110	△ 4,511,000	752,110	-	-
増減率	△ 71.0	△ 65.9	皆減	18,992.7	-	-

支出済額は、375万7,930円で、予算現額に対し83.3%の執行率であり、前年度と比較すると727万2,110円(65.9%)の減である。

支出総額構成比率は0.0%(前年度0.0%)である。

第12款 公債費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	構成比率
					対予算	対歳出計
令和3年度	6,176,924,000	6,175,079,122	0	1,844,878	100.0	10.9
令和2年度	6,020,223,000	5,999,220,113	0	21,002,887	99.7	9.1
比較増減	156,701,000	175,859,009	0	△ 19,158,009	-	-
増減率	2.6	2.9	0.0	△ 91.2	-	-

支出済額は、61億7,507万9,122円で、予算現額に対し100.0%の執行率であり、前年度と比較すると1億7,585万9,009円(2.9%)の増である。

支出総額構成比率は10.9%(前年度9.1%)である。

第13款 諸支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	構成比率
					対予算	対歳出計
令和3年度	2,551,411,000	2,550,056,123	0	1,354,877	99.9	4.5
令和2年度	328,684,000	320,895,532	0	7,788,468	97.6	0.5
比較増減	2,222,727,000	2,229,160,591	0	△ 6,433,591	-	-
増減率	676.3	694.7	0.0	△ 82.6	-	-

支出済額は、25億5,005万6,123円で、予算現額に対し99.9%の執行率であり、前年度と比較すると22億2,916万591円(694.7%)の増である。

支出総額構成比率は、4.5%(前年度0.5%)である。

第14款 予備費

(単位：円、%)

年度	議決予算額	充用額	不用額	充用率
令和3年度	70,000,000	24,251,000	45,749,000	34.6
令和2年度	70,000,000	4,000,000	66,000,000	5.7
比較増減	0	20,251,000	△ 20,251,000	-
増減率	0.0	506.3	△ 30.7	-

予備費の充用は4件 2,425万1,000円(前年度1件400万円)となっている。

### 3. 特別会計

#### (1) 決算の概要

国民健康保険特別会計他10特別会計の予算総額は、311億5,243万1,000円

(前年度対比2.5%の減)で、これに対する決算額は、

□歳入総額 302億3,110万8,202円(予算に対する収入率97.0%)

□歳出総額 298億1,149万2,055円(予算に対する執行率95.7%)

差引 4億1,961万6,147円 となっている。

この決算額を前年度の決算額と比較すると

□歳入決算額 2億7,107万6,042円(0.9%)

□歳出決算額 1億1,242万9,632円(0.4%)それぞれ減少している。

◇各会計別決算の収支状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

会計別	区分	令和3年度				令和2年度	対前年度 増減率
		予算現額	決算額	予算現額に対する 決算額の差額	予算現額に対する 決算額の比率	決算額	
国民健康保険 (事業勘定)	歳入	14,255,555,000	14,093,680,163	161,874,837	98.9	13,719,519,119	2.7
	歳出	14,255,555,000	13,931,848,941	323,706,059	97.7	13,712,808,966	1.6
	差引残	-	161,831,222	-	-	6,710,153	-
国民健康保険 (直診勘定)	歳入	47,146,000	45,468,940	1,677,060	96.4	60,298,126	△ 24.6
	歳出	47,146,000	44,968,100	2,177,900	95.4	59,797,399	△ 24.8
	差引残	-	500,840	-	-	500,727	-
古河福祉の森 診療所	歳入	128,832,000	119,729,480	9,102,520	92.9	139,873,083	△ 14.4
	歳出	128,832,000	118,610,681	10,221,319	92.1	138,972,631	△ 14.7
	差引残	-	1,118,799	-	-	900,452	-
後期高齢者医 療	歳入	1,662,463,000	1,646,718,837	15,744,163	99.1	1,616,341,198	1.9
	歳出	1,662,463,000	1,645,108,264	17,354,736	99.0	1,615,932,942	1.8
	差引残	-	1,610,573	-	-	408,256	-
介護保険 (保険事業勘定)	歳入	11,081,167,000	11,046,564,501	34,602,499	99.7	10,857,021,852	1.7
	歳出	11,081,167,000	10,880,055,257	201,111,743	98.2	10,589,931,776	2.7
	差引残	-	166,509,244	-	-	267,090,076	-
介護保険(介護 サービス事業 勘定)	歳入	11,400,000	10,753,193	646,807	94.3	11,848,566	△ 9.2
	歳出	11,400,000	10,753,193	646,807	94.3	11,597,654	△ 7.3
	差引残	-	0	-	-	250,912	-
農業集落排水 事業	歳入	924,105,000	795,794,592	128,310,408	86.1	936,968,565	△ 15.1
	歳出	924,105,000	765,979,892	158,125,108	82.9	910,327,921	△ 15.9
	差引残	-	29,814,700	-	-	26,640,644	-
ゴルフ場事業	歳入	93,779,000	92,131,175	1,647,825	98.2	64,028,716	43.9
	歳出	93,779,000	82,559,348	11,219,652	88.0	60,250,465	37.0
	差引残	-	9,571,827	-	-	3,778,251	-
古河駅東部土 地区画整理事 業	歳入	1,570,903,000	989,871,586	581,031,414	63.0	1,604,931,857	△ 38.3
	歳出	1,570,903,000	954,620,090	616,282,910	60.8	1,539,411,805	△ 38.0
	差引残	-	35,251,496	-	-	65,520,052	-
公共用地先行 取得事業	歳入	18,300,000	18,207,325	92,675	99.5	57,028,121	△ 68.1
	歳出	18,300,000	18,207,325	92,675	99.5	57,028,121	△ 68.1
	差引残	-	0	-	-	0	-
仁連地区新産 業用地開発事 業	歳入	1,358,781,000	1,372,188,410	△ 13,407,410	101.0	1,434,325,041	△ 4.3
	歳出	1,358,781,000	1,358,780,964	36	100.0	1,227,862,007	10.7
	差引残	-	13,407,446	-	-	206,463,034	-
合 計	歳入	31,152,431,000	30,231,108,202	921,322,798	97.0	30,502,184,244	△ 0.9
	歳出	31,152,431,000	29,811,492,055	1,340,938,945	95.7	29,923,921,687	△ 0.4
	差引残	-	419,616,147	-	-	578,262,557	-

◇一般会計等からの繰入金の状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	令和3年度			令和2年度		対前年度 繰入金 増減率
	決 算 額		歳入決算額 に 対する比率	決 算 額		
	歳入決算額	繰入金		歳入決算額	繰入金	
国民健康保険 (事業勘定)	14,093,680,163	942,349,908	6.7	13,719,519,119	940,984,984	0.1
国民健康保険 (直診勘定)	45,468,940	7,826,000	17.2	60,298,126	23,532,000	△ 66.7
古河福祉の森診療所	119,729,480	14,444,000	12.1	139,873,083	35,115,000	△ 58.9
後期高齢者医療	1,646,718,837	340,040,081	20.6	1,616,341,198	331,473,021	2.6
介護保険 (保険事業勘定)	11,046,564,501	1,686,440,350	15.3	10,857,021,852	1,742,268,224	△ 3.2
介護保険 (介護サービス事業勘定)	10,753,193	305,157	2.8	11,848,566	1,858,000	△ 83.6
農業集落排水事業	795,794,592	372,029,897	46.7	936,968,565	399,905,240	△ 7.0
ゴルフ場事業	92,131,175	0	0.0	64,028,716	36,557,000	0.0
古河駅東部土地区画整理 事業	989,871,586	104,434,000	10.6	1,604,931,857	129,169,000	△ 19.1
公共用地先行取得	18,207,325	18,207,325	100.0	57,028,121	57,028,121	△ 68.1
仁連地区新産業用地開発 事業	1,372,188,410	0	0.0	1,434,325,041	0	0.0
合 計	30,231,108,202	3,486,076,718	11.5	30,502,184,244	3,697,890,590	△ 5.7



## (2) 各会計の概要

### ①国民健康保険特別会計（事業勘定）

歳入歳出予算総額は、142億5,555万5,000円（前年度対比1.0%の増）で、これに対する決算額は

□歳入総額 140億9,368万163円（予算に対する収入率98.9%）

□歳出総額 139億3,184万8,941円（予算に対する執行率97.7%）

差 引 1億6,183万1,222円 となっている。

この決算額を前年度の決算額と比較すると

□歳入決算額 3億7,416万1,044円（2.7%）

□歳出決算額 2億1,903万9,975円（1.6%）それぞれ増加している。

◇決算収支状況は、次表のとおりである。

（単位：円、%）

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減	
			増減額	増減率
予算現額	14,255,555,000	14,115,839,000	139,716,000	1.0
歳入決算額 (A)	14,093,680,163	13,719,519,119	374,161,044	2.7
歳出決算額 (B)	13,931,848,941	13,712,808,966	219,039,975	1.6
歳入歳出差引額(C) = (A) - (B)	161,831,222	6,710,153	155,121,069	2,311.7
翌年度繰越財源(D)	0	0	0	-
実質収支額 (E) = (C) - (D)	161,831,222	6,710,153	155,121,069	-

### 歳 入

（単位：円、%）

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	14,255,555,000	14,779,150,789	14,093,680,163	52,503,224	632,967,402	98.9	95.4
令和2年度	14,115,839,000	14,457,721,129	13,719,519,119	109,904,020	628,297,990	97.2	94.9
比較増減	139,716,000	321,429,660	374,161,044	△ 57,400,796	4,669,412	-	-
増減率	1.0	2.2	2.7	△ 52.2	0.7	-	-

収入済額は、140億9,368万163円で、予算現額に対して98.9%、調定額に対して95.4%の収入率となっており、前年度と比較すると3億7,416万1,044円（2.7%）の増である。

歳入決算額の内容は、国民健康保険税が一般被保険者と退職被保険者等を含めて30億5,520万8,126円、県支出金100億4,221万998円、繰入金9億4,234万9,908円等となっている。

不納欠損額は5,250万3,224円で前年度と比較すると5,740万796円（52.2%）の減となっている。

収入未済額は6億3,296万7,402円で前年度と比較すると466万9,412円（0.7%）の増となっている。

### 歳 出

（単位：円、%）

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	
					対予算	対歳出計
令和3年度	14,255,555,000	13,931,848,941	0	323,706,059	97.7	100.0
令和2年度	14,115,839,000	13,712,808,966	0	403,030,034	97.1	100.0
比較増減	139,716,000	219,039,975	0	△ 79,323,975	-	-
増減率	1.0	1.6	0	△ 19.7	-	-

支出済額は、139億3,184万8,941円で、予算現額に対して97.7%となっており、前年度と比較すると2億1,903万9,975円（1.6%）の増である。

歳出決算額の内容は、保険給付費が98億2,747万7,908円（対歳出計70.5%）、国民健康保険事業費納付金37億8,540万8,285円（対歳出計27.2%）等となっている。

## ②国民健康保険特別会計（直診勘定）

歳入歳出予算総額は、4,714万6,000円（前年度対24.2%の減）で、これに対する決算額は

□歳入総額 4,546万8,940円（予算に対する収入率 96.4%）

□歳出総額 4,496万8,100円（予算に対する執行率 95.4%）

差引 50万840円 となっている。

この決算額を前年度の決算額と比較すると

□歳入決算額 1,482万9,186円（24.6%）

□歳出決算額 1,482万9,299円（24.8%）それぞれ減少している。

◇決算収支状況は、次表のとおりである。

（単位：円、%）

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減	
			増減額	増減率
予算現額	47,146,000	62,221,000	△ 15,075,000	△ 24.2
歳入決算額 (A)	45,468,940	60,298,126	△ 14,829,186	△ 24.6
歳出決算額 (B)	44,968,100	59,797,399	△ 14,829,299	△ 24.8
歳入歳出差引額(C) = (A) - (B)	500,840	500,727	113	0.0
翌年度繰越財源(D)	0	0	0	-
実質収支額 (E) = (C) - (D)	500,840	500,727	113	-

## 歳 入

（単位：円、%）

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	47,146,000	45,468,940	45,468,940	0	0	96.4	100.0
令和2年度	62,221,000	60,298,126	60,298,126	0	0	96.9	100.0
比較増減	△ 15,075,000	△ 14,829,186	△ 14,829,186	0	0	-	-
増減率	△ 24.2	△ 24.6	△ 24.6	0	0	-	-

収入済額は、4,546万8,940円で、予算現額に対して96.4%、調定額に対して100%の収入率となっており、前年度と比較すると1,482万9,186円（24.6%）の減である。

歳入決算額の内容は、診療収入3,019万6,053円、繰入金782万6,000円、諸収入455万1,110円等となっている。

## 歳 出

（単位：円、%）

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	
					対予算	対歳出計
令和3年度	47,146,000	44,968,100	0	2,177,900	95.4	100.0
令和2年度	62,221,000	59,797,399	0	2,423,601	96.1	100.0
比較増減	△ 15,075,000	△ 14,829,299	0	△ 245,701	-	-
増減率	△ 24.2	△ 24.8	0	△ 10.1	-	-

支出済額は、4,496万8,100円で、予算現額に対して95.4%となっており、前年度と比較すると1,482万9,299円（24.8%）の減である。

歳出決算額の内容は、総務費が4,037万2,738円（対歳出計89.8%）で職員の人件費と施設の維持管理に関わる委託料等となっている。医業費は459万5,362円（対歳出計10.2%）で医薬材料費、検査手数料等が主なものとなっている。

### ③古河福祉の森診療所特別会計

歳入歳出予算総額は、1億2,883万2,000円（前年度対比14.6%の減）で、これに対する決算額は

□歳入総額 1億1,972万9,480円（予算に対する収入率 92.9%）

□歳出総額 1億1,861万681円（予算に対する執行率 92.1%）

差 引 111万8,799円 となっている。

この決算額を前年度の決算額と比較すると

□歳入決算額 2,014万3,603円（14.4%）

□歳出決算額 2,036万1,950円（14.7%）それぞれ減少している。

◇決算収支状況は、次表のとおりである。

（単位：円、%）

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減	
			増減額	増減率
予算現額	128,832,000	150,914,000	△ 22,082,000	△ 14.6
歳入決算額 (A)	119,729,480	139,873,083	△ 20,143,603	△ 14.4
歳出決算額 (B)	118,610,681	138,972,631	△ 20,361,950	△ 14.7
歳入歳出差引額(C) = (A) - (B)	1,118,799	900,452	218,347	24.2
翌年度繰越財源(D)	0	0	0	-
実質収支額 (E) = (C) - (D)	1,118,799	900,452	218,347	-

#### 歳 入

（単位：円、%）

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	128,832,000	119,729,480	119,729,480	0	0	92.9	100.0
令和2年度	150,914,000	139,873,083	139,873,083	0	0	92.7	100.0
比較増減	△ 22,082,000	△ 20,143,603	△ 20,143,603	0	0	-	-
増減率	△ 14.6	△ 14.4	△ 14.4	0	0	-	-

収入済額は、1億1,972万9,480円で、予算現額に対して92.9%、調定額に対して100%の収入率となっており、前年度と比較すると2,014万3,603円（14.4%）の減である。

歳入決算額の内容は、診療収入9,099万9,694円、使用料及び手数料623万2,298円、繰入金1,444万4,000円、県支出金246万6,000円等となっている。

#### 歳 出

（単位：円、%）

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	
					対予算	対歳出計
令和3年度	128,832,000	118,610,681	0	10,221,319	92.1	100.0
令和2年度	150,914,000	138,972,631	0	11,941,369	92.1	100.0
比較増減	△ 22,082,000	△ 20,361,950	0	△ 1,720,050	-	-
増減率	△ 14.6	△ 14.7	0	△ 14.4	-	-

支出済額は、1億1,861万681円で、予算現額に対して92.1%となっており、前年度と比較すると2,036万1,950円（14.7%）の減である。

歳出決算額の内容は、総務費が8,820万2,630円（対歳出計74.4%）で人件費と診療所施設管理費等となっている。医業費は3,040万8,051円（対歳出計25.6%）で医薬材料費、各種委託料、機器等使用料が主なものとなっている。

#### ④後期高齢者医療特別会計

歳入歳出予算総額は、16億6,246万3,000円(前年度対比1.9%の増)で、これに対する決算額は

□歳入総額 16億4,671万8,837円(予算に対する収入率 99.1%)

□歳出総額 16億4,510万8,264円(予算に対する執行率 99.0%)

差 引 161万573円 となっている。

この決算額を前年度の決算額と比較すると

□歳入決算額 3,037万7,639円(1.9%)

□歳出決算額 2,917万5,322円(1.8%)それぞれ増加している。

◇決算収支状況は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減	
			増減額	増減率
予算現額	1,662,463,000	1,631,011,000	31,452,000	1.9
歳入決算額 (A)	1,646,718,837	1,616,341,198	30,377,639	1.9
歳出決算額 (B)	1,645,108,264	1,615,932,942	29,175,322	1.8
歳入歳出差引額(C) = (A) - (B)	1,610,573	408,256	1,202,317	294.5
翌年度繰越財源(D)	0	0	0	-
実質収支額 (E) = (C) - (D)	1,610,573	408,256	1,202,317	-

#### 歳 入

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	1,662,463,000	1,660,058,137	1,646,718,837	2,255,600	11,083,700	99.1	99.2
令和2年度	1,631,011,000	1,630,690,698	1,616,341,198	3,312,900	11,036,600	99.1	99.1
比較増減	31,452,000	29,367,439	30,377,639	△ 1,057,300	47,100	-	-
増減率	1.9	1.8	1.9	△ 31.9	0.4	-	-

収入済額は、16億4,671万8,837円で、予算現額に対して99.1%、調定額に対して99.2%の収入率となっている。

歳入決算額の内容は、後期高齢者医療保険料13億327万6,700円、繰入金3億4,004万81円等となっている。

#### 歳 出

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	
					対予算	対歳出計
令和3年度	1,662,463,000	1,645,108,264	0	17,354,736	99.0	100.0
令和2年度	1,631,011,000	1,615,932,942	0	15,078,058	99.1	100.0
比較増減	31,452,000	29,175,322	0	2,276,678	-	-
増減率	1.9	1.8	0	15.1	-	-

支出済額は、16億4,510万8,264円で、予算現額に対して99.0%、前年度と比較すると2,917万5,322円(1.8%)の増となっている。

歳出決算額の内容は、分担金及び負担金が16億4,173万1,807円(対歳出計99.8%)となっている。

### ⑤介護保険特別会計（保険事業勘定）

歳入歳出予算総額は、110億8,116万7,000円（前年度対比2.5%の増）で、これに対する決算額は

- 歳入総額 110億4,656万4,501円（予算に対する収入率99.7%）
- 歳出総額 108億8,005万5,257円（予算に対する執行率98.2%）
- 差 引 1億6,650万9,244円 となっている。

この決算額を前年度の決算額と比較すると

- 歳入決算額 1億8,954万2,649円（1.7%）
- 歳出決算額 2億9,012万3,481円（2.7%）それぞれ増加している。

◇決算収支状況は、次表のとおりである。

（単位：円、%）

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減	
			増減額	増減率
予算現額	11,081,167,000	10,815,270,000	265,897,000	2.5
歳入決算額 (A)	11,046,564,501	10,857,021,852	189,542,649	1.7
歳出決算額 (B)	10,880,055,257	10,589,931,776	290,123,481	2.7
歳入歳出差引額(C) = (A) - (B)	166,509,244	267,090,076	△ 100,580,832	△ 37.7
翌年度繰越財源(D)	0	0	0	-
実質収支額 (E) = (C) - (D)	166,509,244	267,090,076	△ 100,580,832	-

### 歳 入

（単位：円、%）

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	11,081,167,000	11,099,861,301	11,046,564,501	18,929,800	34,367,000	99.7	99.5
令和2年度	10,815,270,000	10,912,525,252	10,857,021,852	18,238,100	37,265,300	100.4	99.5
比較増減	265,897,000	187,336,049	189,542,649	691,700	△ 2,898,300	-	-
増減率	2.5	1.7	1.7	3.8	△ 7.8	-	-

収入済額は、110億4,656万4,501円で、予算現額に対して99.7%、調定額に対して99.5%の収入率となっており、前年度と比較すると1億8,954万2,649円（1.7%）の増である。

歳入決算額の内容は、介護保険料25億5,359万6,000円、国庫支出金21億7,358万2,467円、支払基金交付金28億115万7,000円、県支出金15億6,105万8,940円、繰入金16億8,644万350円等となっている。

### 歳 出

（単位：円、%）

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	
					対予算	対歳出計
令和3年度	11,081,167,000	10,880,055,257	0	201,111,743	98.2	100.0
令和2年度	10,815,270,000	10,589,931,776	0	225,338,224	97.9	100.0
比較増減	265,897,000	290,123,481	0	△ 24,226,481	-	-
増減率	2.5	2.7	0	△ 10.8	-	-

支出済額は、108億8,005万5,257円で、予算現額に対して98.2%となっており、前年度と比較すると2億9,012万3,481円（2.7%）の増である。

歳出決算額の内容は、保険給付費100億3,615万649円（対歳出計92.2%）で、居宅介護サービス給付費、施設介護サービス給付費が主なものとなっている。

### ⑥介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)

歳入歳出予算総額は、1,140万円(前年度対比8.0%の減)で、これに対する決算額は

□歳入総額 1,075万3,193円(予算に対する収入率94.3%)

□歳出総額 1,075万3,193円(予算に対する執行率94.3%)

差引 0円となっている。

この決算額を前年度の決算額と比較すると

□歳入決算額 109万5,373円(9.2%)

□歳出決算額 84万4,461円(7.3%)それぞれ減少している。

◇決算収支状況は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減	
			増減額	増減率
予算現額	11,400,000	12,392,000	△ 992,000	△ 8.0
歳入決算額 (A)	10,753,193	11,848,566	△ 1,095,373	△ 9.2
歳出決算額 (B)	10,753,193	11,597,654	△ 844,461	△ 7.3
歳入歳出差引額(C) = (A) - (B)	0	250,912	△ 250,912	△ 100.0
翌年度繰越財源(D)	0	0	0	-
実質収支額 (E) = (C) - (D)	0	250,912	△ 250,912	-

### 歳 入

(単位：円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	11,400,000	10,753,193	10,753,193	0	0	94.3	100.0
令和2年度	12,392,000	11,848,566	11,848,566	0	0	95.6	100.0
比較増減	△ 992,000	△ 1,095,373	△ 1,095,373	0	0	-	-
増減率	△ 8.0	△ 9.2	△ 9.2	0	0	-	-

収入済額は、1,075万3,193円で、予算現額に対し94.3%、調定額に対し100%の収入率となっており、前年度と比較すると109万5,373円(9.2%)の減である。

歳入決算額の内容は、介護予防サービス費収入1,019万7,124円、繰入金30万5,157円となっている。

### 歳 出

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	
					対予算	対歳出計
令和3年度	11,400,000	10,753,193	0	646,807	94.3	100.0
令和2年度	12,392,000	11,597,654	0	794,346	93.6	100.0
比較増減	△ 992,000	△ 844,461	0	△ 147,539	-	-
増減率	△ 8.0	△ 7.3	0	△ 18.6	-	-

支出済額は、1,075万3,193円で、予算現額に対して94.3%となっており、前年度と比較すると84万4,461円(7.3%)の減である。

歳出決算額の内容は、総務費が303万7,464円(対歳出計28.2%)で介護予防支援事業所としての人件費、地域包括支援センター支援システム使用料が主なものとなっている。事業費は771万5,729円(対歳出計71.8%)で介護予防サービス計画委託料である。

### ⑦農業集落排水事業特別会計

歳入歳出予算総額は、9億2,410万5,000円（前年度対比14.8%の減）で、これに対する決算額は

- 歳入総額 7億9,579万4,592円（予算に対する収入率 86.1%）
- 歳出総額 7億6,597万9,892円（予算に対する執行率 82.9%）
- 差 引 2,981万4,700円 となっている。

この決算額を前年度の決算額と比較すると

- 歳入決算額 1億4,117万3,973円（15.1%）
- 歳出決算額 1億4,434万8,029円（15.9%）それぞれ減少している。

◇決算収支状況は、次表のとおりである。

（単位：円、%）

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減	
			増減額	増減率
予算現額	924,105,000	1,085,244,000	△ 161,139,000	△ 14.8
歳入決算額 (A)	795,794,592	936,968,565	△ 141,173,973	△ 15.1
歳出決算額 (B)	765,979,892	910,327,921	△ 144,348,029	△ 15.9
歳入歳出差引額(C) = (A) - (B)	29,814,700	26,640,644	3,174,056	11.9
翌年度繰越財源(D)	1,628,000	217,000	1,411,000	-
実質収支額 (E) = (C) - (D)	28,186,700	26,423,644	1,763,056	-

### 歳 入

（単位：円、%）

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	924,105,000	926,430,285	795,794,592	197,079	130,438,614	86.1	85.9
令和2年度	1,085,244,000	1,075,476,240	936,968,565	360,975	138,146,700	86.3	87.1
比較増減	△ 161,139,000	△ 149,045,955	△ 141,173,973	△ 163,896	△ 7,708,086	-	-
増減率	△ 14.8	△ 13.9	△ 15.1	△ 45.4	△ 5.6	-	-

収入済額は、7億9,579万4,592円で、予算現額に対して86.1%、調定額に対して85.9%の収入率となっており、前年度と比較すると1億4,117万3,973円（15.1%）の減である。

歳入決算額の内容は、分担金及び負担金1,051万9,500円、使用料及び手数料1億5,881万9,888円、国庫支出金9,281万9,000円、県支出金1,064万5,000円、繰入金3億7,202万9,897円、市債1億1,240万円等となっている。

### 歳 出

（単位：円、%）

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	
					対予算	対歳出計
令和3年度	924,105,000	765,979,892	129,415,000	28,710,108	82.9	100.0
令和2年度	1,085,244,000	910,327,921	135,636,000	39,280,079	83.9	100.0
比較増減	△ 161,139,000	△ 144,348,029	△ 6,221,000	△ 10,569,971	-	-
増減率	△ 14.8	△ 15.9	△ 4.6	△ 26.9	-	-

支出済額は、7億6,597万9,892円で、予算現額に対して82.9%となっており、前年度と比較すると1億4,434万8,029円（15.9%）の減である。

歳出決算額の内容は、農業集落排水事業費が4億1,140万8,234円（対歳出計53.7%）、公債費3億4,527万1,939円（対歳出計45.1%）等となっている。

総和地区5箇所、三和地区6箇所、全11箇所の合計処理水量は1,045,697m<sup>3</sup>で、維持管理費は1億5,851万336円となった。

### ⑧ゴルフ場事業特別会計

歳入歳出予算総額は、9,377万9,000円（前年度対比46.5%の増）で、これに対する決算額は

□歳入総額 9,213万1,175円（予算に対する収入率98.2%）

□歳出総額 8,255万9,348円（予算に対する執行率88.0%）

差 引 957万1,827円 となっている。

この決算額を前年度の決算額と比較すると

□歳入決算額 2,810万2,459円（43.9%）

□歳出決算額 2,230万8,883円（37.0%）それぞれ増加している。

◇決算収支状況は、次表のとおりである。

（単位：円、%）

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減	
			増減額	増減率
予算現額	93,779,000	64,028,000	29,751,000	46.5
歳入決算額 (A)	92,131,175	64,028,716	28,102,459	43.9
歳出決算額 (B)	82,559,348	60,250,465	22,308,883	37.0
歳入歳出差引額(C) = (A) - (B)	9,571,827	3,778,251	5,793,576	153.3
翌年度繰越財源(D)	0	0	0	-
実質収支額 (E) = (C) - (D)	9,571,827	3,778,251	5,793,576	-

### 歳 入

（単位：円、%）

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	93,779,000	92,131,175	92,131,175	0	0	98.2	100.0
令和2年度	64,028,000	64,028,716	64,028,716	0	0	100.0	100.0
比較増減	29,751,000	28,102,459	28,102,459	0	0	-	-
増減率	46.5	43.9	43.9	0	0	-	-

収入済額は、9,213万1,175円で、予算現額に対して98.2%、調定額に対して100.0%の収入率となっており、前年度と比較すると2,810万2,459円（43.9%）の増である。

歳入決算額の内容は、協定納付金8,753万4,000円等となっている。

### 歳 出

（単位：円、%）

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	
					対予算	対歳出計
令和3年度	93,779,000	82,559,348	0	11,219,652	88.0	100.0
令和2年度	64,028,000	60,250,465	0	3,777,535	94.1	100.0
比較増減	29,751,000	22,308,883	0	7,442,117	-	-
増減率	46.5	37.0	0	197.0	-	-

支出済額は、8,255万9,348円で、予算現額に対して88.0%となっており、前年度と比較すると2,230万8,883円（37.0%）の減である。

歳出決算額の内容は、ゴルフ場事業費8,255万9,348円（対歳出計100.0%）となっている。



### ⑨古河駅東部土地地区画整理事業特別会計

歳入歳出予算総額は、15億7,090万3,000円（前年度対比29.0%の減）で、これに対する決算額は

□歳入総額 9億8,987万1,586円（予算に対する収入率63.0%）

□歳出総額 9億5,462万 90円（予算に対する執行率60.8%）

差 引 3,525万1,496円 となっている。

この決算額を前年度の決算額と比較すると

□歳入決算額 6億1,506万 271円（38.3%）

□歳出決算額 5億8,479万1,715円（38.0%）それぞれ減少している。

◇決算収支状況は、次表のとおりである。

（単位：円、%）

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減	
			増減額	増減率
予算現額	1,570,903,000	2,212,056,000	△ 641,153,000	△ 29.0
歳入決算額 (A)	989,871,586	1,604,931,857	△ 615,060,271	△ 38.3
歳出決算額 (B)	954,620,090	1,539,411,805	△ 584,791,715	△ 38.0
歳入歳出差引額(C) = (A) - (B)	35,251,496	65,520,052	△ 30,268,556	△ 46.2
翌年度繰越財源(D)	25,832,000	27,354,000	△ 1,522,000	-
実質収支額 (E) = (C) - (D)	9,419,496	38,166,052	△ 28,746,556	-

### 歳 入

（単位：円、%）

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	1,570,903,000	1,565,894,586	989,871,586	0	576,023,000	63.0	63.2
令和2年度	2,212,056,000	2,211,958,857	1,604,931,857	0	607,027,000	72.6	72.6
比較増減	△ 641,153,000	△ 646,064,271	△ 615,060,271	0	△ 31,004,000	-	-
増減率	△ 29.0	△ 29.2	△ 38.3	0	△ 5.1	-	-

収入済額は、9億8,987万1,586円で、予算現額に対して63.0%、調定額に対して63.2%の収入率となっており、前年度と比較すると6億1,506万271円（38.3%）の減である。

歳入決算額の内容は、事業収入1,186万3,753円、負担金4,992万5,000円、国庫支出金2億6,867万3,000円、県支出金1,990万6,000円、繰入金1億443万4,000円、繰越金6,552万52円、市債4億6,950万円等となっている。

### 歳 出

（単位：円、%）

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	
					対予算	対歳出計
令和3年度	1,570,903,000	954,620,090	601,855,000	14,427,910	60.8	100.0
令和2年度	2,212,056,000	1,539,411,805	634,381,000	38,263,195	69.6	100.0
比較増減	△ 641,153,000	△ 584,791,715	△ 32,526,000	△ 23,835,285	-	-
増減率	△ 29.0	△ 38.0	△ 5.1	△ 62.3	-	-

支出済額は、9億5,462万90円で、予算現額に対して60.8%となっており、前年度と比較すると5億8,479万1,715円（38.0%）の減である。

歳出決算額の内容は、土木費7億4,565万4,804円（対歳出計78.1%）、公債費2億896万5,286円（対歳出計21.9%）となっている。

### ⑩公共用地先行取得特別会計

歳入歳出予算総額は、1,830万円（前年度対比68.0%の減）で、これに対する決算額は

□歳入総額 1,820万7,325円（予算に対する収入率 99.5%）

□歳出総額 1,820万7,325円（予算に対する執行率 99.5%）

差引 0円 となっている。

この決算額を前年度の決算額と比較すると

□歳入決算額 3,882万796円（68.1%）

□歳出決算額 3,882万796円（68.1%）それぞれ減少している。

◇決算収支状況は、次表のとおりである。

（単位：円、%）

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減	
			増減額	増減率
予算現額	18,300,000	57,100,000	△ 38,800,000	△ 68.0
歳入決算額 (A)	18,207,325	57,028,121	△ 38,820,796	△ 68.1
歳出決算額 (B)	18,207,325	57,028,121	△ 38,820,796	△ 68.1
歳入歳出差引額(C) = (A) - (B)	0	0	0	0.0
翌年度繰越財源(D)	0	0	0	-
実質収支額 (E) = (C) - (D)	0	0	0	-

### 歳 入

（単位：円、%）

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	18,300,000	18,207,325	18,207,325	0	0	99.5	100.0
令和2年度	57,100,000	57,028,121	57,028,121	0	0	99.9	100.0
比較増減	△ 38,800,000	△ 38,820,796	△ 38,820,796	0	0	-	-
増減率	△ 68.0	△ 68.1	△ 68.1	0	0	-	-

収入済額は、1,820万7,325円で、予算現額に対して99.5%、調定額に対して100%の収入率となっており、前年度と比較すると3,882万796円（68.1%）の減である。

歳入決算額の内容は、繰入金1,820万7,325円となっている。

### 歳 出

（単位：円、%）

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	
					対予算	対歳出計
令和3年度	18,300,000	18,207,325	0	92,675	99.5	100.0
令和2年度	57,100,000	57,028,121	0	71,879	99.9	100.0
比較増減	△ 38,800,000	△ 38,820,796	0	20,796	-	-
増減率	△ 68.0	△ 68.1	0	28.9	-	-

支出済額は、1,820万7,325円で、予算現額に対して99.5%となっており、前年度と比較すると3,882万796円（68.1%）の減である。

歳出決算額の内容は、公債費1,820万7,325円（対歳出計100.0%）となっている。

### ⑪仁連地区新産業用地開発事業特別会計

歳入歳出予算総額は、13億5,878万1,000円（前年度対比22.5%の減）で、これに対する決算額は

- 歳入総額 13億7,218万8,410円（予算に対する収入率101.0%）
- 歳出総額 13億5,878万964円（予算に対する執行率100.0%）
- 差引 1,340万7,446円 となっている。

この決算額を前年度の決算額と比較すると

- 歳入決算額 6,213万6,631円（4.3%）減
- 歳出決算額 1億3,091万8,957円（10.7%）増となっている。

◇決算収支状況は、次表のとおりである。

（単位：円、%）

区 分	令和3年度	令和2年度	比較増減	
			増減額	増減率
予算現額	1,358,781,000	1,752,471,000	△ 393,690,000	△ 22.5
歳入決算額 (A)	1,372,188,410	1,434,325,041	△ 62,136,631	△ 4.3
歳出決算額 (B)	1,358,780,964	1,227,862,007	130,918,957	10.7
歳入歳出差引額(C) = (A) - (B)	13,407,446	206,463,034	△ 193,055,588	△ 93.5
翌年度繰越財源(D)	0	0	0	-
実質収支額 (E) = (C) - (D)	13,407,446	206,463,034	△ 193,055,588	-

### 歳 入

（単位：円、%）

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
令和3年度	1,358,781,000	1,372,188,410	1,372,188,410	0	0	101.0	100.0
令和2年度	1,752,471,000	1,434,325,041	1,434,325,041	0	0	81.8	100.0
比較増減	△ 393,690,000	△ 62,136,631	△ 62,136,631	0	0	-	-
増減率	△ 22.5	△ 4.3	△ 4.3	0	0	-	-

収入済額は、13億7,218万8,410円で、予算現額に対して101.0%、調定額に対して100.0%の収入率となっており、前年度と比較すると6,213万6,631円（4.3%）の減である。

歳入決算額の内容は、財産収入11億6,568万9,376円等となっている。

### 歳 出

（単位：円、%）

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合	
					対予算	対歳出計
令和3年度	1,358,781,000	1,358,780,964	0	36	100.0	100.0
令和2年度	1,752,471,000	1,227,862,007	0	524,608,993	70.1	100.0
比較増減	△ 393,690,000	130,918,957	0	△ 524,608,957	-	-
増減率	△ 22.5	10.7	0	△ 100.0	-	-

支出済額は、13億5,878万964円で、予算現額に対して100.0%となっており、前年度と比較すると1億3,091万8,957円（10.7%）の増である。

歳出決算額の内容は、新産業用地開発事業費13億5,878万964円（対歳出計100.0%）となっている。

#### 4. 財産に関する調書

財産の決算年度中の増減及び決算現在高の状況は、次表のとおりである。

区 分	単位	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
公有財産				
土地	㎡	2,397,036.09	△ 79,984.02	2,317,052.07
建物	㎡	369,296.41	△ 498.62	368,797.79
有価証券	円	20,500,000	0	20,500,000
出資による権利	円	3,617,514,500	△ 400,000	3,617,114,500
物品				
車両	台	309	△ 4	305
その他(50万円以上)	点	793	9	802
基金	円	7,034,125,115	2,337,310,162	9,371,435,277
債権	千円	904,322	△ 58,583	845,739

※基金欄については、収入印紙等購入基金の収入印紙等、スポーツ振興基金の有価証券及び土地開発基金の土地分を除く。

##### (1) 公有財産

土地は、決算年度中で79,984.02㎡減少している。これは、主に仁連工業団地の工業用地売却等によるものである。

建物は、決算年度中で498.62㎡減少している。これは、主に古河市立第一保育所の建物を解体したことによるものである。

##### (2) 物品

車両は、決算年度中で6台増加、10台減少、合計で4台減少となっている。

##### (3) 基金

基金総額は、決算年度末現在高が93億7,143万5,277円であり、決算年度中で23億3,731万162円増加している。主な内訳は、財政調整基金3億5,561万5,481円の増、減債基金10億1,168万6,541円の増、公共施設整備基金10億732円の増、ふるさと振興基金5,647万7,393円の減、新駅設置準備基金1億3,825円の増、自治振興基金8,999万7,599円の減、合併特例振興基金1億4,698万3,666円の減、道の駅「まくらがの里こが」基金1,925万8,186円の増、森林環境譲与税基金1,333万9,215円の増、介護給付費準備基金1億876万4,000円の減、ゴルフ場事業基金2,238万3,000円の減等である。

##### (4) 債権

債権の決算年度末現在高は、8億4,573万9千円であり、決算年度中で5,858万3千円減少している。

## 第2章 基金運用状況審査意見書

### 第1 基準に準拠している旨

監査委員は、古河市監査基準（令和2年古河市監査委員告示第1号）に準拠して監査を行った。

### 第2 監査の種類

基金運用審査（地方自治法第241条第5項）

### 第3 審査の対象

令和3年度基金のうち、以下の特定の目的のために定額の資金を運用するための基金について審査対象とした。

- （1）土地開発基金
- （2）収入印紙等購入基金
- （3）緊急援護資金貸付基金
- （4）高額療養費貸付基金
- （5）古河文学館事業基金

### 第4 審査の期間

令和4年6月1日から同年7月29日まで

### 第5 審査の実施内容及び着眼点

審査にあたっては、基金の運用状況を示す書類について、関係諸帳簿及び証書類と照査し、基金運用の適否を検討するとともに計数の確認を行い、定期監査及び例月現金出納検査の資料も活用して審査を行った。

### 第6 審査の結果

基金の運用状況を示す書類の計数は、関係諸帳簿及び証書類と符合しており、正確であることを認めた。また、基金の運用状況については、適正に運用されていることを認めた。

### 第7 基金の運用状況

#### （1）土地開発基金

この基金は、公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要のある土地をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図ることを目的とし、基金の額は、令和3年度末で6億9,906万155円である。

令和3年度の土地取得及び引渡はなかった。令和3年度末基金残高は7億529万537円で、現金残高は3億2,078万2,799円、土地保有残高は3億8,450万7,738円となっている。

なお、基金から生じた収益3,198円は、基金積立されている。

#### (2) 収入印紙等購入基金

この基金は、収入印紙及び茨城県収入証紙の購入及び売りさばきを円滑かつ効率的に行うことを目的とし、基金の額は500万円である。

令和3年度の収入印紙・茨城県証紙購入枚数は28,310枚で、購入金額は2,154万7,000円、販売枚数は27,565枚で、販売金額は2,145万6,800円であった。

なお、基金から生じた収益6円は、一般会計に収入されている。

#### (3) 緊急援護資金貸付基金

この基金は、市内に居住し生活が困窮している者(以下「生活困窮者等」という)が、急迫した事情により緊急的に生活資金等を必要とする場合に、当該生活困窮者等に資金を貸付けて援護することを目的とし、基金の額は200万円である。

令和3年度の貸付は124件で210万7,000円、償還は250件で230万7,000円、不納欠損は1件で3万円であった。

令和3年度末基金残高は200万円で、うち現金は174万722円、未精算は19件で25万9,278円であり、翌年度に繰越されている。

それぞれの債権について、法令に基づき適切な債権管理を実施するためにも、債権の法的位置づけや性質を再度確認し、個々の債権について現況把握に努められたい。

なお、基金から生じた収益1,293円は、一般会計に収入されている。

#### (4) 高額療養費貸付基金

この基金は、高額療養費の支払の困難な者に対し、資金を貸し付けることによって、経済的自立を助長し、生活の安定を図ることを目的とし、基金の額は600万円である。

令和3年度の貸付及び返済はなかった。令和3年度末の未精算は1件で27万8,000円であり、翌年度に繰越されている。

なお、基金から生じた収益56円は、一般会計に収入されている。

#### (5) 古河文学館事業基金

この基金は古河文学館が行う各種事業の円滑な実施を図ることを目的とし、基金の額は50万円である。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止対策によりイベントが中止されたため、収入及び支出はなかった。

なお、基金から生じた収益4円は、一般会計に収入されている。

◇基金の運用状況調書は、次ページの表のとおりである。

基金の運用状況調書

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	異動の状況		決算年度末現在高
		増	減	
財政調整基金	2,722,352,055	355,615,481	0	3,077,967,536
減債基金	603,886,977	1,011,686,541	0	1,615,573,518
公共施設整備基金	73,406,082	1,000,000,732	0	1,073,406,814
ふるさと振興基金	393,721,902	48,522,607	105,000,000	337,244,509
新駅設置準備基金	239,573,184	100,003,825	0	339,577,009
教育振興基金	9,652,488	96	0	9,652,584
地域福祉基金	32,933,311	328	0	32,933,639
松岡奨学基金	11,961,604	118	1,200,000	10,761,722
松岡文化及びスポーツ振興基金	33,946,235	338	0	33,946,573
古河歴史博物館資料取得等基金	933,080	203,208	0	1,136,288
メリナ・メルクーリ国際賞基金	2,206,821	44	0	2,206,865
自治振興基金	185,772,694	2,401	90,000,000	95,775,095
合併特例振興基金	347,000,999	16,334	147,000,000	200,017,333
企業立地調整基金	100,972,190	1,708	0	100,973,898
道の駅「まくらがの里こが」基金	129,824,393	19,258,186	0	149,082,579
スポーツ振興基金	107,630,325	1,400,081	1,400,000	107,630,406
内(1)現金	7,630,325	1,400,081	1,400,000	7,630,406
内(2)有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
子ども夢基金	98,830,358	984	218,000	98,613,342
森林環境贈与税金基金	19,917,092	13,339,215	0	33,256,307
文化的施設整備基金	70,006,817	698	0	70,007,515
古河文学館事業基金	500,000	0	0	500,000
収入印紙等購入基金	5,000,000	43,003,806	43,003,806	5,000,000
内(1)現金	455,650	21,456,806	21,547,006	365,450
内(2)収入印紙等	4,544,350	21,547,000	21,456,800	4,634,550
国民健康保険支払準備基金	114,407	0	0	114,407
介護給付費準備基金	910,384,886	108,764,000	0	1,019,148,886
高額療養費貸付基金	6,000,000	0	0	6,000,000
内(1)現金	5,722,000	0	0	5,722,000
内(2)貸付分	278,000	0	0	278,000
国民健康保険出産費資金貸付基金	4,804,486	46	0	4,804,532
緊急援護資金貸付基金	2,001,281	4,446,012	4,447,293	2,000,000
内(1)現金	1,514,003	2,337,012	2,110,293	1,740,722
内(2)貸付分	487,278	2,109,000	2,337,000	259,278
農業集落排水事業減債基金	15,562,552	9,299,719	9,507,897	15,354,374
古河駅東部土地区画整理事業保留地処分基金	591,553,396	272,652	0	591,826,048
古河市仁連地区新産業用地開発事業用地処分基金	98,205,000	724,000	0	98,929,000
ゴルフ場事業基金	527	22,383,000	0	22,383,527
土地開発基金	705,287,339	3,198	0	705,290,537
内(1)現金	320,779,601	3,198	0	320,782,799
内(2)土地	384,507,738	0	0	384,507,738
合 計	7,034,125,115	2,715,293,358	377,983,196	9,371,435,277